レッスンガイド

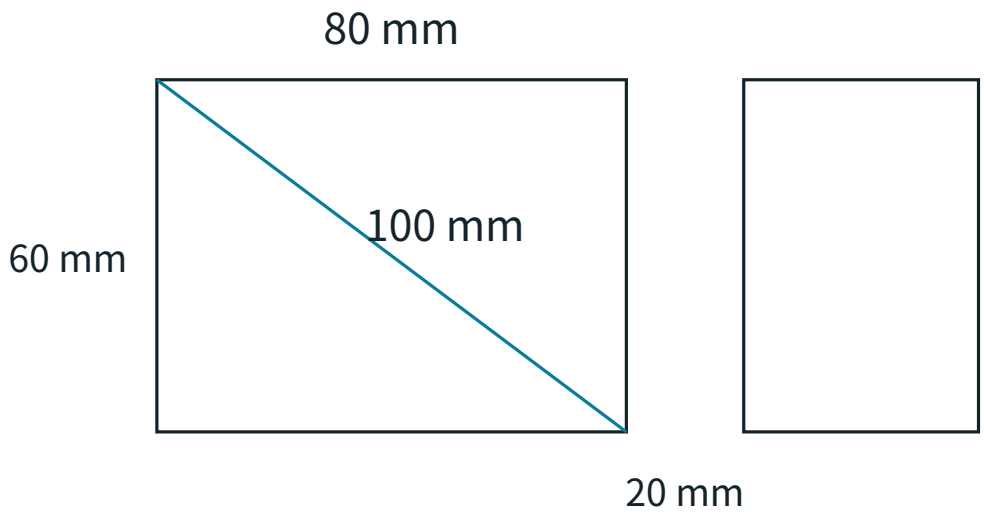
距離を測定する

一時的な測定オーバーレイを使って、幅、対角線、クリアランスを確認します。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

ソフトウェアの練習

レーザーは必要ありません。付属のネイティブファイルにはマシンプロファイルがなく、操作の出力はオフになっています。保存された設定は素材用レシピではありません。



デモの測定値。この図はジオメトリを示すもので、保存された寸法オブジェクトを示すものではありません。

1. **measure-start.lzrproj**を開きます。左側のツールバーで**測定**を選択し、次にプロパティで**線形**を選択します。

2. 大きい長方形の左上隅と右上隅をクリックします。**長さ**には**80.00 mm**と表示されます。

3. **Escape**を押して線を消去します。左上をクリックし、次に右下をクリックします。長さは**100.00 mm**、水平は**80.00 mm**、垂直は**60.00 mm**です。

4. **間隔**を選択し、2つの長方形の内側をクリックします。**最小間隔**は**20.00 mm**です。**measure-demo-check.png**と比較します。

自主練習

自主練習

measure-practice-start.lzrprojを開きます。大きい長方形の幅、高さ、対角線を線形で測定し、次に最も近い間隔を間隔で測定します。

幅：

高さ：

対角線の長さ、水平、垂直：

最小間隔：

□ 線形では実際の隅を狙います。隅を外すと測定値が変わります。

□ 測定と測定の間はEscapeで消去します。オブジェクト間のクリアランスには間隔を使います。

□ 自分の測定値を記録してから、measure-practice-check.pngと比較します。

保存するデザイン編集はありません

Escapeを一度押して測定を消去し、もう一度押して選択に戻ります。これらのオーバーレイはシェイプやレーザーパスにはならず、描画ジオメトリとして保存されません。

回答の説明

回答の説明

幅60 mm、高さ80 mm
これは練習用長方形の水平および垂直方向の範囲です。

対角線100 mm
互いに垂直な2つの範囲は60と80 mmです。対角線は100 mmです。水平は60 mm、垂直は80 mmと表示されます。

最小間隔30 mm
隣の長方形は、大きい長方形に最も近い辺から30 mm先に始まります。間隔はクリックした点同士の距離ではなく、最も近いクリアランスを検出します。

measure-start.lzrproj
デモ用ジオメトリ。幅80 mm、高さ60 mm、間隔20 mm。

measure-demo-check.png
図示したデモの回答測定値。

measure-practice-start.lzrproj
異なる寸法による自主練習用ジオメトリ。

measure-practice-check.png
図示した練習測定値：幅60、高さ80、対角線100、間隔30 mm。

回答画像には一時的な測定値が表示されます。寸法線が常設された二つ目のネイティブ回答ファイルはありません。このツールでは線をドラッグすることもできますが、このレッスンでは2回クリックします。付属のジオメトリは変更しないでください。

Beam Bench 0.2.37のデモインターフェースに対応しています。後のバージョンではパネルのレイアウトが異なる場合があります。